

## その他の包括利益の内訳の注記イメージ

- ・「たたき台」第９項では、組替調整の金額をその他の包括利益の内訳項目ごとに注記するとあり、また、第８項では、税効果の金額の開示を注記によることができるとある。
- ・改定後 IAS 第１号<sup>1</sup>に付属するガイダンスを参考とすると、注記イメージとしては下記が考えられる。

(組替調整の金額に係る注記)

その他有価証券評価差額金：

当期発生額	1,190	
組替調整の金額	(230)	960
<hr/>		
繰延ヘッジ損益：		
当期発生額	605	
組替調整の金額	(115)	490
<hr/>		
為替換算調整勘定	(300)	(300)
<hr/>		
税効果調整前合計		1,150
税効果額		(450)
<hr/>		
その他の包括利益		700
<hr/> <hr/>		

(税効果の金額に係る注記)

	税効果 調整前	税効果額	税効果 調整後
その他有価証券評価差額金	960	(380)	580
繰延ヘッジ損益	490	(190)	300
為替換算調整勘定	(300)	120	(180)
<hr/>			
その他の包括利益	1,150	(450)	700
<hr/> <hr/>			

<sup>1</sup> 適用時期は 2009/1/1 以後開始事業年度

（参考）米国基準適用会社における開示では下記の通り。

	税効果 調整前	税効果額	税効果 調整後
その他有価証券評価差額金：			
当期発生額	1,190	(475)	715
組替調整の金額	(230)	95	(135)
その他有価証券評価差額金	960	(380)	580
繰延ヘッジ損益：			
当期発生額	605	(235)	370
組替調整の金額	(115)	45	(70)
繰延ヘッジ損益	490	(190)	300
為替換算調整勘定	(300)	120	(180)
その他の包括利益	1,150	(450)	700

（参考例）

P社はS1社株式の70%を保有し、S社を連結子会社としている。S社は、保有しているその他有価証券の一部を売却し、投資有価証券売却益50百万円を計上した。なお、当該売却した有価証券について、P社がS社を子会社としたときの時価と簿価は一致していた。

（S社のその他有価証券残高の増減明細）

	前期末残高	当期末残高		売却益 (組替調整)	
取得原価	11,000	10,000	当期変動 A	B	当期発生額 A+B
時価	12,000	11,100			
評価益	1,000	1,100	<b>100</b>	<b>50</b>	<b>150</b>
税効果	400	440	40	20	60
税効果調整後	600	660	<b>60</b>	<b>30</b>	<b>90</b>
親会社持分（70%）	420	462	42	21	63
少数株主持分（30%）	180	198	18	9	27

注記は下記のようになることが考えられる。（ここでは米国のフォームで示している。）

	税効果 調整前	税効果額	税効果 調整後
その他有価証券評価差額金：			
当期発生額	150	(60)	90
組替調整の金額	(50)	20	(30)
その他有価証券評価差額金	100	(40)	60

（参考：親会社株主の持分のみを表示する場合<sup>2</sup>）

	税効果 調整前	税効果額	税効果 調整後
その他有価証券評価差額金：			
当期発生額	105	(42)	63
組替調整の金額	(35)	14	(21)
その他有価証券評価差額金	70	(28)	42
親会社株主に係るその他の包括利益	70	(28)	42

<sup>2</sup> 各項目へ親会社持分比率を乗じて作成している。なお、親会社持分比率が変動したときは、その前後で比率を変えて計算することも考えられる。

## 連結財務諸表における包括利益の表示方法

## (1) 2 計算書方式

	(1 案)		(2 案)
<連結損益計算書>			
売上高	10,000	売上高	10,000
-----		-----	
税金等調整前当期純利益	2,200	税金等調整前当期純利益	2,200
法人税等	(900)	法人税等	(900)
少数株主損益調整前当期純利益	1,300	少数株主損益調整前当期純利益	1,300
少数株主利益	(300)	少数株主利益	(300)
当期純利益	<u>1,000</u>	当期純利益	<u>1,000</u>
<連結区分包括利益計算書>			
当期純利益	1,000	少数株主損益調整前当期純利益	1,300
親会社株主に係る			
その他の包括利益：		その他の包括利益：	
その他有価証券評価差額金	500	その他有価証券評価差額金	580
繰延ヘッジ損益	250	繰延ヘッジ損益	300
為替換算調整勘定	(150)	為替換算調整勘定	(180)
	<u>600</u>		<u>700</u>
親会社株主に係る包括利益	1,600	包括利益	<u>2,000</u>
少数株主に係る包括利益（※1）	400		
包括利益	<u>2,000</u>		
		(内訳)	
		親会社株主に係る包括利益	1,600
		少数株主に係る包括利益	400

(※1) 合計のみを表示し、内訳は注記とする。

少数株主利益	300
その他有価証券評価差額金	80
繰延ヘッジ損益	50
為替換算調整勘定	(30)
	<u>400</u>

## (2) 1 計算書方式

&lt;連結包括利益計算書&gt;

(1 案)		(2 案)	
売上高	10,000	売上高	10,000
-----		-----	
税金等調整前当期純利益	2,200	税金等調整前当期純利益	2,200
法人税等	(900)	法人税等	(900)
少数株主損益調整前当期純利益	1,300	少数株主損益調整前当期純利益	1,300
少数株主利益	(300)	少数株主利益	(300)
当期純利益	1,000	当期純利益	1,000
		少数株主利益	300
親会社株主に係る		少数株主損益調整前当期純利益	1,300
その他の包括利益：		その他の包括利益：	
その他有価証券評価差額金	500	その他有価証券評価差額金	580
繰延ヘッジ損益	250	繰延ヘッジ損益	300
為替換算調整勘定	(150)	為替換算調整勘定	(180)
親会社株主に係る包括利益	1,600		700
少数株主に係る包括利益 (※2)	400	包括利益	2,000
包括利益	2,000		
		(内訳)	
(※2) 合計のみを表示し、内訳は注記とする。		親会社株主に係る包括利益	1,600
少数株主利益	300	少数株主に係る包括利益	400
その他有価証券評価差額金	80		
繰延ヘッジ損益	50		
為替換算調整勘定	(30)		
	400		

## （参考）IFRS 及び米国基準（1 計算書方式の場合）

## ＜連結包括利益計算書＞

売上高	10,000
-----	
税金等調整前当期純利益	2,200
法人税等	(900)
当期純利益	1,300
その他の包括利益：	
その他有価証券評価差額金	580
繰延ヘッジ損益	300
為替換算調整勘定	(180)
その他の包括利益	700
包括利益	2,000

(内訳) 親会社株主に帰属する当期純利益	1,000
非支配株主に帰属する当期純利益	300

(内訳) 親会社株主に帰属する包括利益	1,600
非支配株主に帰属する包括利益	400

(注) 米国基準では、2 計算書方式の場合には、当期純利益から非支配株主に帰属する当期純利益を控除して、親会社株主に帰属する当期純利益をボトムラインに表示する方式も SFAS 160 の設例に示されている。

連結株主資本等変動計算書

	株主資本			その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	合計		
前期末残高	15,000	5,000	20,000	750	(80)	(220)	450	1,800	22,250
当期変動額									
.....									
当期純利益		1,000	1,000						1,000
株主資本以外の項目の当期変動額				500	250	(150)	600	400	1,000
当期変動額合計		6,000	1,000	500	250	(150)	600	400	2,000
当期末残高	15,000	6,000	21,000	1,250	170	(370)	1,050	2,200	24,250

※ 連結貸借対照表上、少数株主に帰属するその他の包括利益の累計額は少数株主持分に含まれ、その他の包括利益累計額（現行の「評価・換算等差額」）には親会社持分に帰属する金額のみが含まれることになるので、少数株主持分を含んだその他の包括利益の金額は、連結株主資本等変動計算書の内訳金額とは一致しない。